



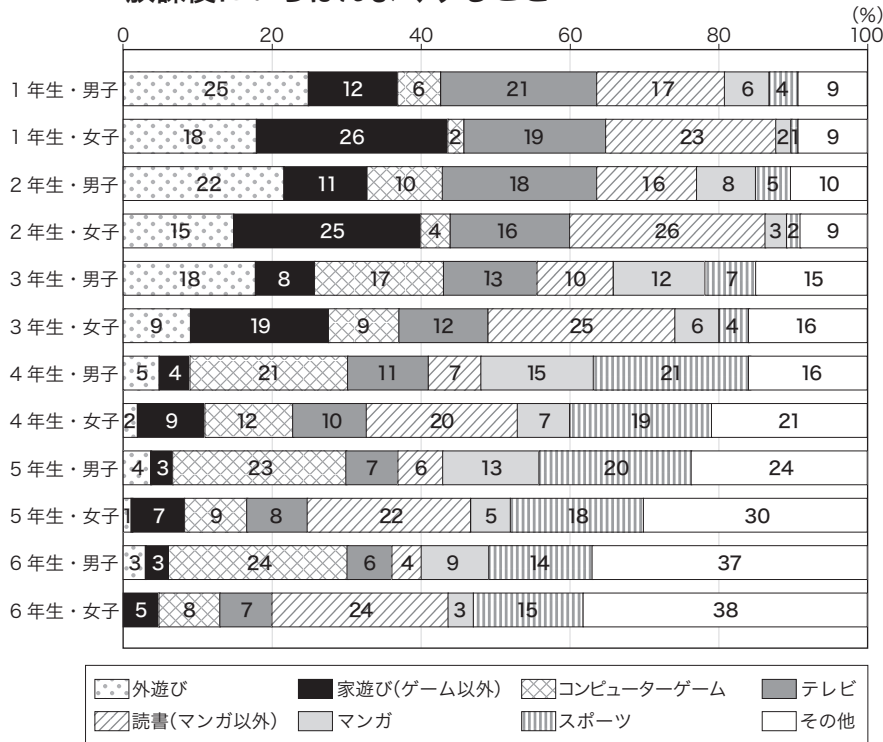
日本語検定

5

級

総合問題

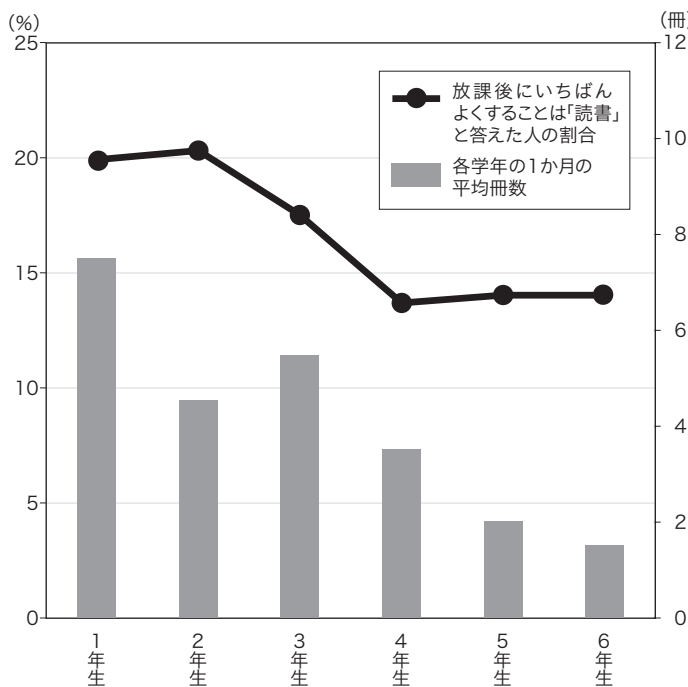
〈グラフ1〉 放課後にいちばんよくすること



問1

左のグラフと文章は、放課後の過ごし方について、五年二組の和田君たちの班が、全校児童にアンケートをとった結果をまとめたものです。これを見て、それぞれの質問に番号で答えてください。

〈グラフ2〉 「読書」と答えた人の割合と、1か月に読む本の冊数



みんなが放課後にいちばんよくすることは何か、調べてみました〈グラフ1〉。放課後の過ごし方は人それぞれですが、学年や性別によって特徴があるようです。

「外遊び」と答えた人の割合は、男女とも学年が進むにつれて減っていきます。「テレビ」も減っていますが、(**ア**)。「コンピューターゲーム」は、男子では学年が進むごとに増えていきますが、女子は4年生が最高で、5年生、6年生と減っていきます。「スポーツ」は男女とも4年生で急が増えています。これは、私たちの学校では4年生から課外クラブ活動に参加できるからだと思います。

「読書」はどの学年でも男子より女子の割合が高くなっています。その反対に、「マンガ」は全学年で男子のほうが高い割合です。同じようなことは「家遊び」と「外遊び」の関係についても言えます。

また、高学年では(**イ**)。これは、塾や習い事のために遊んでいるひまがない人が増えるからではないでしょうか。

「読書」については、少しくわしく調べてみました〈グラフ2〉。男女の結果をまとめると、放課後にいちばんよくすることは「読書」だと答えた人の割合は、1年生と2年生は(**ウ**)、3年生、4年生と減っていき、4年生から6年生ではまた(**エ**) なります。

なお、全校児童が1か月に読む本の平均冊数を見ると、「読書」を一番よくする人の割合の変化とは必ずしも関連しないようです。例えば、1年生に比べると2年生の冊数は大きく減っています。班で話し合ったところ、2年生になると、絵本ではなく文字だけの本も読むようになるからではないか、という意見が出ました。

一 **ア** に入る言い方として最も適切なものはどれでしょうか。

- 1 前の学年より増えている学年もあります
- 2 「外遊び」よりも多くなっています
- 3 「外遊び」と比べると減り方が少しゆるやかです

二 **イ** に入る言い方として最も適切なものはどれでしょうか。

- 1 男子と女子のちがいが大きくなります
- 2 男女とも家の中で過ごす人が増えています
- 3 男女とも「その他」の割合が高くなります

三 **ウ・エ** に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものはどれでしょうか。

- 1 **ウ**：とても高く **エ**：ピークに
- 2 **ウ**：とても低く **エ**：ほぼ横ばいに
- 3 **ウ**：あまり変わらず **エ**：ピークに
- 4 **ウ**：あまり変わらず **エ**：ほぼ横ばいに

四 次のうち、グラフと文章の内容と合っているものはどれでしょうか。一つ選んでください。

- 1 「読書」をいちばんよくする人の割合は、どの学年でも女子のほうが男子よりも高い。
- 2 学年が進むにつれて、男子の「外遊び」の割合が減っていくのは、「コンピューターゲーム」をする人が大きく増えているためである。
- 3 1年生から6年生まで学年が進むにつれて、一か月の平均読書冊数は減る一方である。

問2

次の文章は、小学校六年生の西山さんがテレビ番組を見て書いたものです。この文章について、後の質問に答えてください。

この前、テレビで「火星移住計画」についての特集番組を見て、たいへんおどろきました。なぜなら私は、それまで火星に人が住むという話は、SF映画やアニメーションの中だけのことだと思っていたからです。

番組では、火星のことや移住計画について、くわしく分かりやすく説明していました。

まず、火星は太陽系の中で最も地球に近いところにある惑星だということです。直径は約六千八百キロメートルで、地球の半分ほど、重力は地球の約三分の一で、大気はうすく、そのほとんどが二酸化炭素だそうです。ただ過去には水が、ホウフにあつたことは確実に、生命が存在した可能性もあるということでした。以前、何かのアニメで、タコのような姿をした火星人を見たことがあります。もしかしたら本当に火星に生き物がいるかもしれないと思うと、わくわくしました。

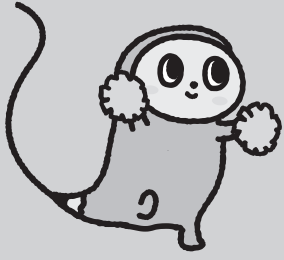
現在、あるアメリカの宇宙開発会社が、八万人の移住計画を立てているそうです。最初は十人未満の移住から始まり、地球の作物を育てるなどして（イ）できるようにドームを建設した後で、より多くの人間を段階的に移住させていく予定だということです。

しかし、そのためには解決しなければならない課題がたくさんあります。その中でも距離の遠さと火星表面での放射線の強さが、大きな障害になっているようです。

火星と地球との距離は、地球から月までの距離の百倍以上あるので、現在のロケットでは往復に一年半以上かかり、燃料だけでも費用は（ウ）な数字になります。また、放射線は人体に悪いえいきょうをあたえます。大気のうすい火星では放射線が強く、それを防ぐ方法を開発することが求められています。それ以外にも、人間が生活していく上で必要な水やエネルギーの問題など、課題は山積みだということです。

（エ）、その宇宙開発会社では、今後の技術開発によって、早ければ十年後には火星への最初の有人飛行が可能になり、将来的には一人あたり約四千万円の費用で行けるようになるの見積もっているそうです。

私は正直、（オ）でも、一度でいいから宇宙旅行でほかの惑星に行ってみたいという気持ちはあるので、今から少しずつ貯金をしようと思います。



一 ア「ホウフ」を正しい漢字で書いてください。

二 イには次の四文字の言葉が入ります。□に当てはまる漢字を選んで、番号で答えてください。

【自給自□】

〔 1 足 2 得 3 賛 4 転 〕

三 ウに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。番号で答えてください。

〔 1 非科学的 2 物理学的 3 天文学的 〕

四 エに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。番号で答えてください。

〔 1 それから 2 それでは 3 それでも 〕

五 オに入る言い方として最も適切なものはどれでしょうか。番号で答えてください。

- 1 住み慣れた地球で長く暮らしているので、火星に移住したいと思います
- 2 住み慣れた地球で暮らしたいので、火星に移住したいとは思いません
- 3 住み慣れた地球も好きですが、ほかの惑星にも興味があります
- 4 住み慣れた地球が好きなので、ほかの惑星には興味がありません

六 次の文のうち、この文章の内容と合っているものはどれでしょうか。一つ選んで番号で答えてください。

- 1 西山さんは今でも、火星移住計画は空想の世界の話にすぎないと考えている。
- 2 現在、火星に生物は住んでいないが、かつて生命が存在したことは確実である。
- 3 火星移住計画は、距離と放射線の問題さえ解決できれば成功する。
- 4 アメリカの宇宙開発会社の見積もりでは、人類が最初に火星に行けるようになるまでに、少なくとも十年はかかる。